

# 市民の願い 実現へ

# 今年もがんばります

## 日本共産党

12月市議会で日本共産党は、竹村博之議員が代表質問を、玉井みき子、塩見みゆき、そろり邦雄の各議員が個人質問を、それぞれ行いました。以下、その一部を紹介します。



### 市としても 原油価格高騰対策を

政府は、原油価格の高騰を受け、国民生活や中小企業を支援する緊急対策の基本方針を発表した。市としても①中小零細企業、福祉施設や作業所などの影響の調査と支援の実施②融資制度の利子補給などの具体的な支援③高齢者、生活保護世帯などへの支援を進めるべきだ。

### 妊婦健診の公費負担を せめて5回に

産科不足と経済的な理由で、妊婦健診を受けない「飛び込み出産」が急増している。母子ともに健康な妊娠、出産を迎えるために、妊婦健診の公費負担を5回まで拡大して実施してほしい。



### 保育・学童保育の 充実を

子どもの権利条約の立場にたって、安心して働きながら子育てができるように学童保育と太陽の広場事業のどちらもニーズにこたえて充実させること。公立保育園の民営化はせず充実させるとともに、認定子ども園は導入しないことなどを保育計画に入れるべきだ。



### 高齢者の医療負担 ひき下げを

4月からはじまる75歳からの後期高齢者医療制度で、大阪府は保険料が全国で3番目に高くなる。またサービス利用範囲を不当に制限し、高齢者を差別するものである。保険料の引き下げに努力し、国保と同様に減免を行え。

### 障害者支援を 強めよ

障害者自立支援法の実施は障害者に過酷な負担を強い、事業者の経営を圧迫している。  
●吹田には障害者の入所施設がなく、200名の方が市外の施設に入所している。早急に入所施設を作れ。  
●事業所支援を強め、国にも要望を！



### 北千里小統廃合問題 について

- ①昨年、統廃合を前提とした「教育環境整備協議会」に参加することを北千里小学校PTAが判断をされた。
- ②学校規模適正事業の原点は子どもたちのより良い教育のためである。その立場で、第2期学校規模適性化事業の実施による、具体的な教育の内容の充実と教育環境の整備を図る。
- ③地元の共通の要望である、青山台小学校の全面建替え、あるいは大幅改修をして、新しい青山台小学校にする案がいいのではとの要望にどう応えるか。  
主には以上の3点を踏まえて、具体的な課題を実現すべく質問に対し、教育委員会・市長部局ともに最大の努力を約束しました。



### よりよい中学校給食の実施を



保護者や生徒、学校現場の意見をよく聞いて実施すること。低所得者への補助を。安易な民間委託ではなく、学校給食の主旨をふまえて具体化すること。小学校の給食施設を利用する「親子方式」での実施の検討などを求めました。  
しかし実際には、下のおり業者に弁当を注文する方向で検討を進めていることが明らかになりました。  
ひきつづき、よりよい給食の実施を求めてがんばります。

#### <市の案の概要>

- デリバリー方式の採用（献立の作成は市がおこない、調理・配送・保管などを業者に委託する）。
- 家庭弁当との選択制とする。
- 食材：基準は市がさだめ、業者が調達する。
- 来年1月から3校で実施し、以後早期に全校で実施する。